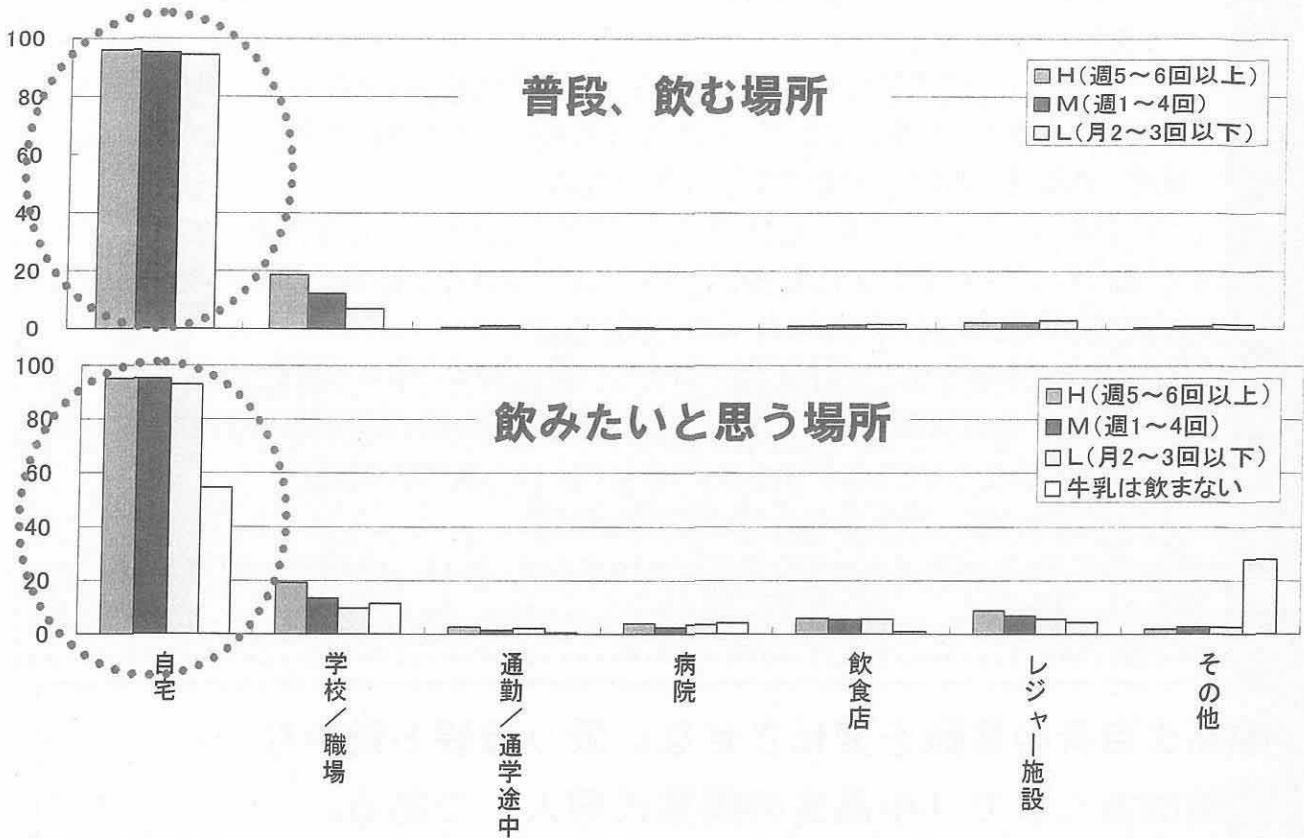


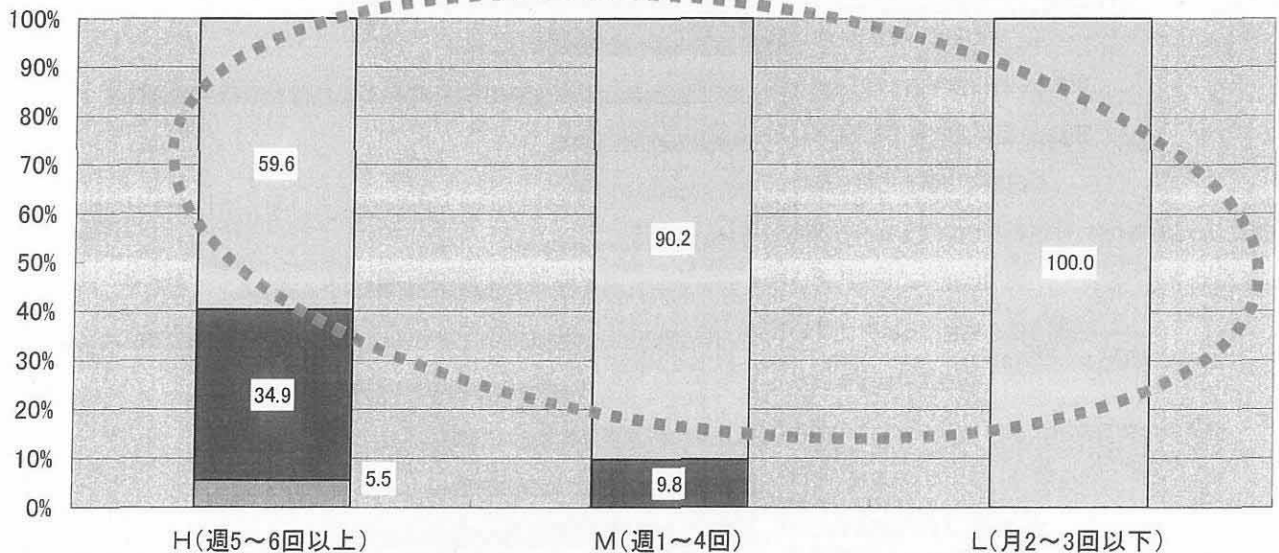
# 牛乳の飲用場所は、現状も今後も自宅のみ。



# 中高生は、冷蔵庫になければ牛乳は飲まない。

## 中高生の自宅に牛乳がない場合の行動

- 自宅の冷蔵庫になければ別の飲み物を飲む。
- 自宅の冷蔵庫になければ親などを買ってきてもらって飲む。
- 自宅の冷蔵庫になければ自分で買いに行っても飲む。



# 母親は、子どもが飲もうとしなければ買わない。

- ・牛乳をたくさん飲むと背が高くなるようなので飲ませたいが、本人が嫌いで飲まないのが難しい(中3男の母親)
  - ・いくら言っても言うことを聞く年齢ではないから、本人に任せるしかない(高2男の母親)
  - ・私自身は飲んで欲しいと思いますが、子供の成長と共に本人自ら意識をもって飲まない限り、無理に飲ませる事は不可能です(中1男の母親)
  - ・牛乳は希望者だけ学校で用意してくれるので、小学校までせっかく毎日飲んでいたのでから中学生になっても体のために飲ませた方が良くと考え申し込みをしたが、娘に「もう牛乳は飲みたくない」と断られてしまった(中3女の母親)
  - ・いくら朝食とかに牛乳を出しておいても、自分で冷蔵庫からスポーツ飲料を出して飲んで、終わらせてしまう。出される物とは関係なく、全て自分で飲み物は選んでいるので、体に良い牛乳をいくら飲ませたくてもあまり飲んでくれなくなった(高2男の母親)
  - ・急に嫌いだと言い出し、飲まなくなった(高3男の母親)
  - ・お弁当になり、本人が飲みたいといわなければ飲まなくなった。実は好きではないと言われた(高2女の母親)
- (定性調査よりQ「牛乳を飲ませなくても良いと思う理由」に対するF A)

中高生自身の意識を変化させない限り母親も動かない。  
母親はあくまで「中高生の購買代理人」である。

# 生活パターンや意識の差と飲用頻度は密接な関係。

## 中高生の健康や食生活に対する意識（肯定率）

